

衆議院神奈川第6区での野党共闘・市民連合

ロッキウの会通信

= 2018年 誕生号 =

発行: かながわロッキウの会

共同代表

・前田 康雄

kanagawa.rokku@gmail.com

・須藤 富男

☎ 090-2634-5976

神奈川の地に 草の根民主主義を!

立憲民主党神奈川県連幹事長

衆議院議員 青柳陽一郎

衆議院解散と立憲民主党結党

昨年の中議院解散直後、混迷を極めるなか枝野幸男代表は立憲民主党の立ち上げを決意し結党を宣言しました。

国民本位の「まっとうな政治」を掲げ、立憲主義・民主主義・平和・国民の暮らしを取り戻し、「草の根からのボトムアップ型民主主義」と「対話の政治」を大切にする立憲民主党の理念は瞬く間に多くの国民の皆様から大きな期待を集め、そしてその声は日増しに高まってきました。

第48回衆議院選挙

選挙戦で立憲民主党は、街頭を中心に理念と政策を国民に直接訴えかけました。特に枝野代表の演説は、これまでに類を見ない聴衆と熱気に包まれました。ツイッターを中心とするSNSは政党でフォロワー数がトップとなり、枝野ブームが湧き起ったのです。

こうして安倍一強政権・自民党公明党政治に対する民意の大きな受け皿となり、結果、神奈川県においては5名の当選者を得ることができました。全国では残念ながら与党に2/3の議席を許したものの、立憲民主党が躍進することとなりました。

草の根からのボトムアップ政治は、国民からいま求められる新しい政治のかたち、新しい政党の姿として、多くの国民に受け入れられたのです。

神奈川県連の設立

衆議院選挙後速やかに県連発足に向けた取り組みが始まりました。具体的な事業として12月に開港記念会館で枝野代表出席のもと、多くの参加者を得て立憲シンポジウムを開催、大きな成功を収めました。

その後、阿部知子衆議院議員を代表に、私、青柳陽一郎を幹事長として立憲民主党神奈川県

連を発足させ、3月4日の結党大会をもって神奈川県での活動の幕が開きました。

神奈川県連として初の地方選挙となる逗子市議会選挙（3月25日、投開票）では、公認候補、推薦候補とも当選（公認候補2位、推薦候補13位）し、来年の統一地方選挙、参議院選挙に向けて良いスタートが切れました。

神奈川の地から立憲主義を守る、民主主義を守る、平和を守る、そのためのボトムアップの政治を実現していくすそ野を広げてまいります。

国会でも増す存在感

安倍一強政治・自民党公明党政権の弊害がより顕著化してきました。

総理自ら最重要と位置づけた働き方改革の柱である裁量労働制は、根拠となるデータが全くのデタラメ。これは私たち立憲民主党が国会論戦において指摘して発覚しました。その後、裁量労働制は答弁、データ、法案と全て撤回することとなりました。

さらに森友学園の公文書改ざんは国会や民主主義の根幹を揺るがす問題で、真相解明は待たなしです。本件にとどまらず、安倍政権による緩みや傲りは推挙にいとまがありません。公文書管理、情報公開は民主主義の土台です。信頼回復に向けて行政改革や政治改革を断行してまいります。

くらしの安心や震災復興とエネルギー政策について、原発ゼロを国の意思として決めることが求められています。県連としても2月16日に原発ゼロ法案タウンミーティングin神奈川を開催し、3月9日に法案を国会に提出しました。党の政策の柱として原発ゼロを位置づけ国民運動を展開しています。

立憲民主党はあなたです

立憲民主党はまだ小さな政党です。でも、国民の大きな期待を感じています。この党をつくるのは政治家であり、国民の皆さん一人ひとりです。

私たちの挑戦は“あなた”なしには成し遂げることにはできません。ともに新たな挑戦を始めたい。私たちには「あなたの力」が必要です。よろしくお祈りします。

**いま「市民と野党の共闘」が重要！
公文書改ざんの現政権を倒し
平和憲法を守りぬこう！
日本共産党西南地区員会 今村あゆみ**

昨年の総選挙で南関東ブロック比例候補者として大変にお世話になりました今村あゆみです。私は、昨年12月末で30年近く勤めた社会福祉法人を辞め、今は日本共産党の専従常任として横浜西南地区員会（保土ヶ谷・旭・瀬谷・戸塚・泉・栄）で働いています。事務所のある戸塚まで車通勤の上、思っていた以上にデスクワークが多く、運動不足気味です。（苦笑）

さて、選挙で私は「憲法を暮らしに活かし、誰もが安心して暮らせる社会にする」、「一人ひとりが大切にされる社会をつくる」と訴えてきました。安倍政権は、森友学園決裁文書改ざん疑惑で危機的な状況にありながらも、憲法9条改憲への執念を燃やし続けています。平和であってこそ、自分らしく生きることができます。憲法を守るたたかいが本当に重要になっています。「市民と野党の共闘」は森友学園疑惑追及でも政権を追い詰めています。改ざん政権による憲法の書き換えは許さないと、立場の違いを超えて取り組んでいる「安倍9条改憲NO！3000万人署名」を5月3日までにやりきる必要があります。日本共産党も各地域、駅頭でコツコツと集めています。皆さんも是非、力をお貸し下さい。

安倍政権を退陣に追い込み、新しい政治の道へ進むためには、どんな逆風にも負けないように日本共産党自身も力をつけようと奮闘中です。私も支部の皆さんと「しんぶん赤旗」を広めたり、「党を語るつどい」に参加して仲間づくりに取り組んでいます。私たちの声が届く政治に変えるため、共に頑張りましょう！



建設組合事務所で開催した懇談会の様子

選挙後、初の懇談会を開催！

昨年の選挙後、初めてとなる青柳議員との政策懇談会を3月17日（土）開催しました。議員には国会開催中の忙しいなか、11時～13時まで貴重な時間をつくって頂きました。

これまで支援活動をしてきた野党、市民団体などに呼びかけ18人が参加し、議員と支援者との顔合わせの場となりました。支援者とは今も、かながわロックの会の全体会ネットワークで繋がっています。

前半の1時間は国会活動と今国会の近状報告、及びそれに対する質疑応答。後半1時間ではランチのお弁当を食べながら、青柳議員との気さくな対話の時間となりました。

国政活動報告では、企業の内部留保が増えるばかりで労働者の賃金待遇や生活は向上せず、内需も盛り上がらない現政権の経済対策・アベノミクスに疑問を呈したこと。国会近状報告では、森友国有地不正払い下げ事件にまつわる財務省公文書改ざんについて、議員が見聞きした生々しい情報を、伺うことができました。

ランチタイムの対話では、垣根を感じない和やかな雰囲気の中、途切れることなく質問が出され、その都度丁寧な説明を頂きました。

（報告者：事務局 井本）

<ロックの会・事務局紹介>

◎事務局長 須田利正

先の総選挙では青柳事務所と市民活動家との調整役として共闘実現に奮闘。現在も青柳議員との懇談会設定など事務局の中心を担う。横浜建設組合支部の副委員長も務めている。

◎「通信」編集長 吉野拓造

ロックの会結成後に事務局に加わり、ロックの会通信の責任者に。普段は国民救援会に所属し冤罪事件などの支援活動を行っている。

5・3県民のつどい

～国会発議を止めさせよう！～

◇5月3日（祝）13時～（集会後デモあり）

会場：神奈川公会堂（JR東神奈川駅前）

講演：永山茂樹氏（東海大学法学部教授）

「安倍改憲の本質とは？・・・」

公文書の改ざん・隠ぺいが次々と発覚し、安倍政権は窮地に追い込まれています。いま一度、改憲発議の問題と市民運動のあり方を学